

東京都立大学附属高等学校同窓会
2024年度上期「理事・監事・評議員会議」 議事録

日時：2024年6月29日（土）13時30分～15時30分

場所：「Blossom Hill(ブロッサムヒル)」

参加者：24名

<意見のあった箇所のみ記載>

■議案3

①同窓会報の発行

発行部数が減っているため、次回は8,800ぐらいの印刷になる予定。

桜修館同窓会は、年齢的なこともありLINEがメインなので住所の把握はあまりしておらず、郵送自体検討。課題は同窓会名簿の整理

②同窓会定期総会の開催

前回は80人ぐらいが参加予定で実際に50人が出席。

今年も50人ぐらいの参加を希望（懇親会も希望）

桜修館多目的ホールで10月26日に開催予定

④第76回記念祭への参加、出展計画

9月8日(日)に合唱イベントを開催したい。

同日より合唱サークルを立ち上げたい（佐藤文行が取りまとめ予定）

⑤同窓会合唱サークルの発足

現在参加希望者は5名

音楽智識部は毎回集会をしているが、希望の練習日程を決めないとお声がけしづらい。

⑥第12回「八雲が丘賞」

基本的に学校側からの推薦を受け入れる。昨年（第11回）は、かつては考えられなかった八雲が丘から全国大会に出場した陸上部に授与された。

⑦第8回「八雲が丘ホームカミングデー」の開催

卒業50年第24期、25年の49期、10年の桜修館3期が対象で11月30日開催。

⑧八雲が丘文庫

どういう形で卒業生や恩師の著作を在校生に見てもらうかは課題で学校側と相談中

⑨今期の会議などの予定

9月9日の記念祭の閉祭式の中で八雲ヶ丘賞の表彰式を行う
最近では部活に参加する生徒に八雲ヶ丘賞の認知が広がっている

■議案4 2024年度予算(案)

2018年から会費は増えている。(ホームカミングデーでの集金)

42期以降のつながりが増えて参加者が増加傾向。

新規で同窓会用アカウントでLINE PayとPayPay用の集金するようにする。意図としてはコンビニ決済などの手数料を減らす。

- ・周年事業に対する募金もはじめる
- ・色々な集まりで募金できるようにしていく
- ・40期代もホームカミングデーに向けての会合も実施してつながりを作っていきたい。

※質問

- ・今期の赤字について

赤字の理由は、懇親会や桜修館との交流が増えたため

そのため、収入を増やしたい(1,300人→1,500人に増やしたい)300万円あれば、新規案件が実行できる

課題としてあった会費納入(コンビニ支払いを減らせば手数料が減りより収入が上がる)LINE PayとPayPayの導入で収入を上げる

- ・支出は、収入に対して決めているのか?また、1,000万円の余剰金はどうする?

支出は収入に対して決めていない。

1,000万円は余裕資金として保有している、旧制府立学校設立100周年記念用にも用途を考えている

1,000万円の原資は、過去に実施した3万円の終身会費の700万強が中心。

(現在は会費を2,000円に統一)

旧制府立高創立100周年記念事業は、同窓会の募金活動で集めて資金も使うが、中心になるのは八雲ヶ丘学友会が保有している240万ほどの預金。これは旧制府立高同窓会が活動を終えた時に、残っていた300万円を八雲ヶ丘学友会に寄付した残り。一部は既に桜修館10周年記念として校舎外壁に取り付けた校章レリーフの制作に使用した。

■議案5 その他

①旧制府立高等学校創立100周年(2029年)記念事業について

新規で募金を開始

②桜修館同窓会との協力関係強化について

都立大学附属高校は、61期が最後になるため、桜修館同窓会との連携を深めつつ、将来的に一本化したいが要調整。桜修館との交流を深めるため、会合を増やした。

※質問

旧制府立高等学校創立100周年時に、当時の在校生からのスピーチをする機会を欲しい。

③同窓会役員の改選について

理事長は理事の互選。理事長に26期、嶋津和行。副理事長に35期、石川恵子。

副理事長というのは現在会則にないので、定期総会までに会則を追記する予定。

理事長をやってきた中で、万一の場合の代理で役割をこなせる存在が必要と判断した。

顧問に13期穴戸迪武が就任しバックアップ体制を整える。

その他

- ・同窓会役員としては、穴戸前理事長の期を跨いだ交流を踏襲していく
- ・名募について

各クラスの消息を今回初めて公開した。理事評議員が機能しているところは不明率が低く、理事評議員(もしくは同窓会で連絡がつく人)がいないところは不明率が高い。

理事評議員が機能していないところはHCDなどを機会に改選が必要。そもそも理事評議員が存在しない期については、皆さんのお知り合いでこれだと思う方がいたら推薦していただきたい。理事評議員でなくても、最低限連絡がつく人が各期に1名は欲しい。

- ・合唱サークルについて

立ち上げ：佐藤文行（芸術大学声楽部）

名称：八雲ヶ丘の名称は入れる。

月1回に活動予定。若手の指導者が必要で同時に探していく。

15期佐々木

→桜修館に対して、青春時代に共通して歌える歌を歌ってみせたい。

10期代までは歌を歌う習慣があったがそれ以降は無いので、多少は馴染みのある曲として捉えて欲しい

- ・部活のつながりを手厚くして、同窓会を盛り上げたい。

以上